

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|-------------|
| ○事業所名 | みらいずカレッジ横手 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 1月 19日 | | ～ R7年 1月24日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 26名 | (回答者数) 8名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 1月 19日 | | ～ R7年 1月24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4名 | (回答者数) 4名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年 1月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 月々の活動カリキュラム表を作成し集団活動を基本としているが、苦手とする内容は個別支援を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで段階的に課題提供している。 ・苦手を感じる課題でも、楽しみながら取り組めるような課題の提供を心掛けている。 ・学休日に個別訓練(コミュニケーション)を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の成長や定着に向けて事業所内だけでなく、家庭や関係機関(学校等)にも周知して連携を蜜にし、保護者様や関係機関の方々にも協力をいただく |
| 2 | カリキュラム・プログラムを固定化せずに、児童のニーズや状況に応じて柔軟に対応している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童との日常会話を大切に、活動プログラムを検討している。 ・活動内容がイメージしやすいように、児童向けの表記の仕方を工夫している。 ・活動内容の目的もわかりやすい言葉で伝え、興味関心を持ってもらえるよう工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の得意、不得意等の自己認識を深めるために、客観的な評価(アセスメントツール等)を行い、その結果に基づいたカリキュラムやプログラムを組み立てる。 |
| 3 | MTGを通して活動内容や関わり方を確認・共有するとともに、支援終了後に振り返りの時間を設けている。職員全員が統一した支援が出来るよう、支援の方向性の確認等を忘れずに実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後は忘れずにケア記録を残している。 ・活動での気付きを記録に残すだけでなく、振り返りで職員に共有を忘れずにしている。 ・連続性のある支援が出来るよう、記録をもとに、今後の支援について話し合い提供している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動だけではなく、日常会話での気付きも記録に残したり、共有する。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 放課後児童クラブや地域交流の機会が設けられていない | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所がオープンしたばかりであるという点から、児童同士の関係性の構築が未熟である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々で作業する活動が多いため、グループワーク等、児童同士が交流したり、お友達を知る機会をつくる。 ・地域交流の前段階として、ボランティア活動やお仕事体験を通して、「みらいずカレッジ横手」を知っていただく。 |
| 2 | ヒヤリハット事例集を作成していない | <ul style="list-style-type: none"> ・口頭での周知および注意喚起はしている ・記録に残していないため、過去の出来事が記憶になく、いざという時の退所が出来ない可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> ・事例集の作成をし、いつでも振り返りやケース検討を行い、リスクマネジメントに努める。 ・自事業所におさめずに、社内で共有する。 |
| 3 | 家族支援プログラムへの取り組みが弱い | <ul style="list-style-type: none"> ・家族支援も大切と考えているが、今年度オープンしたばかりであり、本人支援を優先に取り組んできた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高学年児童の子育てをしている保護者様へ、支援のニーズを確認する。 ・事業所内での取り組みや成長の姿をお伝えする。 ・進学、就職に関わる情報発信(コラム等)を行う。 |